


# イエスさまのことまなび

目標 十字架のしるしを正しくできる  
マリア様のことを知る

時間	授 業 内 容		
	こどもの活動	指導者の活動／ 留意点	資料・教材など
20 分	<p>歌をうたう 先生のことばを聴きながら デ・メロの祈りをする 先生の自己紹介を聞く</p> <p>こどもは紙とエンピツに自分の名前を書く (書けないこどもは、描ける絵を描く)</p>	<p>歌をこどもと一緒にうたう</p> <p>デ・メロの祈りをする(3分) 呼吸、風の音などを意識させる</p> <p> 自己紹介をする</p> <p>こどもに紙とエンピツを配り、自分の名前を書くように指示する。 (書けないこどもには、果物でも人形でも描けるものを描くように指示する) こどもが書いている間、机間巡視しながら、こどもの名前を覚える。 回収し、指導者の出席簿の代わりとして扱うとよい。</p>	<p>歌の準備 デ・メロの祈りの本 *(表外に解説)</p> <p>紙、エンピツ</p>
5 分	休憩または、気分転換になる体操をする		
10 分	<p>1)十字架のしるしを覚える (父と子と聖霊のみ名によって アーメン)</p> <p>神様の呼び方に3つあることを知る。 声に出して、いのりを覚える。(3~5 回くりかえす)</p>	<p>1)十字架のしるしといのりのことばを唱えながら、やり方の手本を示す。 (父と子と聖霊のみ名によって アーメン)</p> <p>神様の呼び方に3つあることを伝える。 このしるしを自分の体にしながら 「神様、守ってください」と願ひましょう。」と話す。</p>	
15 分	<p>2)カテキズム ベルナデッタの写真を見ながら、話を聞く</p> <p>十字架のしるしを正しく切ることの大切さを知る。</p>	<p>2)カテキズム ベルナデッタの写真を見せながら話す。</p> <p>①1858年2月11日にフランスのルルドで14歳のベルナデッタがマリア様に呼ばれたことを話す。 ②貧しいため、マリア様に呼ばれたことを話しても神父様に信じてもらえなかったが、十字架のしるしを正確に切れた</p>	<p>ベルナデッタの写真</p>

時間	授 業 内 容		
	こどもの活動	指導者の活動	資料・教材など
15分	<p>マリア様の名前を知る</p> <p>“原罪なく宿ったものです”</p> <p>まとめの話を聞く</p>	<p>こと。また、季節的には咲くはずでないバラの花(マリア様にこの花を持って、教会に行きなさいと言われた)を持って行ったことにより、神父様に信じていただいた。</p> <p>③洞穴のこと</p> <p>洞穴に立たれたマリア様の名前を伝える。</p> <p>“私は原罪なく宿ったものです。”</p> <p>子どもは「原罪」の意味が分からないと思われるので、アダムとエバが神様との約束を平気で破ったから、人間が皆「原罪」という罪を持って生まれてくること。マリア様だけが、神様に特別に愛されて、恵みをいただかれたので、生まれた時から神様はマリア様に「原罪」を与えなかったという程度の説明をするとよい。</p> <p>まとめをする</p> <p>☆十字架のしるしが間違わずにできた</p> <p>☆寒い冬の日白いバラが咲いていた。それを司教様にもって行きベルナデッタのことを信用された。</p> <p>☆「ここに教会を建て、行列して来てください」現在、それを盛大にしている。</p>	<p>ルルドの洞窟の写真</p> <p>出現された場所に立つ教会の写真</p>
15分	<p>マリア様の歌をうたう。</p> <p>3)ふり返しをする</p> <p>先生の質問に答えながら、振り返る。</p> <p>①ベルナデッタ</p> <p>②フランスのルルド</p> <p>③1853年2月11日</p>	<p>マリア様の歌をうたう。</p> <p>3)ふり返し事項の確認のため質問する。</p> <p>①マリア様に会ってから、美しい十字架をきるようになった女の子の名前は？</p> <p>②どこで起こった出来事ですか？</p> <p>③その出来事は、いつ起こりましたか？</p>	<p>マリア様の歌の準備</p> <p>正解のフリップを準備するか板書する。</p>

\*アントニー・デ・メロの祈りについて

心とからだを静めるために、2～5 分間のエクササイズを行うとよい。

参考文献

『東洋の瞑想とキリスト者の祈り』 アントニー・デ・メロ著 裏辻洋二訳 女子パウロ会 1993 年出版 参照  
例) 序 11.音と観想(71p)など